

倉敷市公共事業景観ガイドライン チェックシート

公共建築物 (実施設計)		令和 年 月 日作成	
【景観形成の目標・方針】			
留意事項		CHK	具体的な配慮の内容(又は対応できない理由)
配 置	オープンスペースを確保する	☐	※実行する具体的配慮内容を記述。但し、実行不可の場合はその理由を記述
	景観資源を生かした配置形態とする	☐	
	自然地形を活かす	☐	
規 模	様々な視点場からの見え方を検討する	☐	
	周辺とのバランスの取れた高さとする	☐	
	景観計画に定める高さの基準を遵守する	☐	
	連続する街並みの中では、一体的な街並み形成に寄与する	☐	
壁 面 位 置	道路や隣地に圧迫感を与えないよう配慮する	☐	
	街並みの連続性を損ねないよう壁面の位置を工夫する	☐	
形態意匠	周辺環境のスケールに調和した景観をつくる	☐	

倉敷市公共事業景観ガイドライン チェックシート

形態意匠	地域性、周辺環境を考慮しつつ、安易なモチーフは用いない	☐	
	低層・中層・頂部を意識した外観により、威圧感を軽減する	☐	
	メインファサード、エントランスに顔となる魅力的な表情をつくる	☐	
	建築付帯設備類、屋外階段は目立たせない	☐	
	配管・ダクト類は目立たせない	☐	
素材	地域の風土に調和した材料を活用する	☐	
	耐久性および更新性に優れた素材を用いるよう努める	☐	
	近景のデザインは自然素材等を使った暖かみのあるものを基本とする	☐	
照明	周辺の環境への影響を配慮する	☐	
	ランドマークには照明でシンボル性を高めることも考慮する	☐	
色彩	周辺景観および色彩相互の調和に配慮し、景観計画の基準に適合させる	☐	
	アクセントカラーは面積を抑え、位置について十分検討する	☐	
	工作物は建築物の基調色との調和にも配慮する	☐	
外構	敷地内外一体的な外構を目指す	☐	

倉敷市公共事業景観ガイドライン チェックシート

外 構	滞留することができる環境づくりに努める	☐	
	柵やフェンス等は建築物本体や周辺環境と調和させる	☐	
	擁壁を設置する場合は、圧迫感や単調さを軽減する	☐	
	アプローチは期待感を生み出す計画を心掛ける	☐	
付 帯 施 設	付帯施設は出来るだけ露出させない	☐	
	太陽光発電設備は周辺景観に影響を与えない位置とする	☐	
緑 化	敷地内の緑化を推進する	☐	
	屋上緑化や壁面緑化の採用を検討する	☐	
	既存植生や将来的な生長を考慮して樹種を選択する	☐	
	季節感の演出も検討する	☐	
駐 車 輪 場 場	街並みに配慮して配置し、周囲からの見え方に配慮する	☐	
サ イ ン 等	建築物のデザインと統合させ、高質で控えめなデザインにする	☐	
	建物内のサインデザインと合わせ、利用者の動線を考慮する	☐	
その他の配慮事項			
【課題等、次の段階へ引き継ぐ事項】			
【添付資料】			
☐ 案内図 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 断面図 ☐ パース ☐ 模型写真 ☐ 現況写真 ☐ その他（ ）			